



JCSS
JCSS 0107

見本

AND

4 頁の中 1 頁

証明書番号

第*****-**号

校正証明書

依頼者名	****株式会社
依頼者住所	〇〇県〇〇市〇〇
計量器の設置場所	〇〇県〇〇市〇〇 ****株式会社 □□試験室
計量器の名称	一軸試験機
型式	RTF-1310
能力	引張 圧縮 : 10 kN
製造番号	*****
製造日	****年**月
製造者	株式会社オリエンテック
力指示計	デジタル表示(パソコン表示:汎用試験機データ処理システム MSAT)
引張校正レンジ	10 kN (ロードセル型式:UR-10KN-D, 器物番号:*****)
圧縮校正レンジ	10 kN (ロードセル型式:UR-10KN-D, 器物番号:*****)
校正方法	JIS B 7721:2018 による
実施条件	1 項のとおり
トランスファ標準器	2 項のとおり
校正結果	3 項のとおり
受付年月日	****年**月**日
校正年月日	****年**月**日

校正結果は以上のとおりであることを証明する。

****年**月**日

校正機関住所	埼玉県北本市朝日 1-243
校正機関名	株式会社 エー・アンド・デイ 校正室
発行責任者	
校正室長	〇〇 〇〇 印

- ・この証明書は、計量法第144条(第1項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。
- ・当社は、ISO/IEC 17025:****(JIS Q 17025:****)に適合しています。
- ・この証明書は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及びAPAC(アジア太平洋認定協力機構)のMRA(相互承認)に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。

見本**AND**

1 項：校正の実施条件

- 1) 一軸試験機の校正は、2 項に記載した力計のトランスファ標準器を用い、一軸試験機の力伝達系を含む力測定系全体に引張りまたは圧縮力を作用させて実施した。
- 2) 予備負荷の回数は 3 回である。
- 3) 力計の位置変更は行わなかった。
- 4) 予備負荷及び各負荷サイクル間の待機時間は、30 秒である。
- 5) 一軸試験機の力指示値の測定は、負荷が力計の指示値に達すると同時に行った。
但し、ロードセル型力計の指示値の測定は、負荷が試験力に達すると同時に行った。
- 6) 一軸試験機及び校正に必要な機器等は、校正を始める 1 時間前からすべての校正が終了するまで連続した通電が行われた。
- 7) 校正実施場所の環境は、以下の通りである。
校正結果 1.1 において、校正実施場所の温度は 24.5℃～24.8℃であり、各測定シリーズを校正中の温度変動は 2℃以内であった。湿度は 29.2%±0.2%，気圧は 1010.7 hPa であった。
校正結果 2.1 において、校正実施場所の温度は 24.5℃～24.9℃であり、各測定シリーズを校正中の温度変動は 2℃以内であった。湿度は 28.6%±0.2%，気圧は 1010.5 hPa であった。
- 8) 一般検査において異常は認められなかった。
- 9) 附属品は無し。

見本**AND**

2 項 : 校正に使用したトランスファ標準器

管 理 番 号	JT-008
名称及び器物番号	環状ばね型力計 : 1445
校正証明書番号	51-65689
型式及び定格容量	圧縮 : 10 kN
指示計番号	ダイヤルゲージ : 35629
不確かさ及び等級	1 kN~10 kN 相対拡張不確かさ 0.078 % 1 級
	2 kN~10 kN 相対拡張不確かさ 0.055 % 0.5 級
	4 kN~10 kN 相対拡張不確かさ 0.044 % 00 級
校 正 温 度	22.9 °C ±1 °C
校 正 年 月 日	2017 年 1 月 5 日
校 正 期 限	2019 年 1 月 31 日
内挿校正式の有無	無し

見本



3 項：校正結果

1. 試験力の方向：引張力

校正を行ったロードセル：定格容量 10 kN 型式：UR-10KN-D 器物番号：*****

1. 1 レンジ容量：10 kN 等級(参考) 0.5 級

試験力 kN	相対偏差 指示誤差 (%) q	拡張不確か さ (%) U	相対誤差 (参考) (%)				トランスファ 標準器
			繰返性 b	零点 f_0	分解能 a	往復 ν	
2.0	0.18	0.25	0.03	0.00	0.00	-----	JT-008
4.0	0.16	0.25	0.00	0.00	0.00	-----	JT-008
6.0	0.16	0.25	0.00	0.00	0.00	-----	JT-008
8.0	0.13	0.25	0.01	0.00	0.00	-----	JT-008
10.0	0.12	0.25	0.00	0.00	0.00	-----	JT-008

2. 試験力の方向：圧縮力

校正を行ったロードセル：定格容量 10 kN 型式：UR-10KN-D 器物番号：*****

2. 1 レンジ容量：10 kN 等級(参考) 0.5 級

試験力 kN	相対偏差 指示誤差 (%) q	拡張不確か さ (%) U	相対誤差 (参考) (%)				トランスファ 標準器
			繰返性 b	零点 f_0	分解能 a	往復 ν	
2.0	0.15	0.25	0.06	0.00	0.00	-----	JT-008
4.0	0.16	0.25	0.02	0.00	0.00	-----	JT-008
6.0	0.15	0.25	0.01	0.00	0.00	-----	JT-008
8.0	0.10	0.25	0.10	0.00	0.00	-----	JT-008
10.0	0.07	0.25	0.01	0.00	0.00	-----	JT-008

上記の拡張不確かさは信頼の水準約 95 %に相当し、包含係数 k は 2 である。

拡張不確かさは、JCSS 技術ガイド(JCG204S021 不確かさの見積もりに関するガイド力/一軸試験機)に従って算出した。

以下余白